

2016年5月1日「原理の後半と御聖婚56周年」 刑部徹地区長

<訓読のみ言>

**【真の父母様御聖婚56周年の意義】**

先日、皆様に総会長様からのみ言の報告の中で「御聖婚56周年は全世界の祝福家庭の実質的な天一国元年となります」と申しあげました。何故、実質的な天一国元年になるのでしょうか？その為には、ペンテコステを理解する必要があります。イエス様は十字架に架けられた後、三日後に復活されました。そして故郷に帰ってしまった弟子達を訪ねていかれます。聖書を見れば弟子達は復活されたイエス様が訪ねて来たとき、恐れおののき逃げ惑います。イエス様を見捨てて故郷に逃げ帰ったからだと思います。しかしイエス様は赦し、更に愛します。その愛によって弟子達は悔い改め、イエス様の復活から50日後の五旬節にマルコの屋根裏部屋で悔い改めの祈りを奉げたとき聖霊が降臨（ペンテコステ）し弟子達は異国の言葉で語り始め、世界中にイエス・キリストの教えが伝播されていきます。

お母様は今回、お父様の聖和から真の父母様御聖婚56周年まではイエス様が復活されて弟子を訪ねていかれたときと同じ期間だと語られました。つまり2000年前の聖霊降臨の時、聖霊は女性神です。復活されたイエス様が弟子達を訪ねたとき深く悔い改めました。その時、女性神の役事が起きたのです。その結果、世界中にキリスト教が拡大する出発元年となったのです。それでは今日の聖霊とは誰でしょうか？まさしく実体の聖霊であり、実体の女性神こそ真のお母様です。故に、真の父母様御聖婚56周年は実体の聖霊によるペンテコステであり、家庭連合が世界的に拡大する出発の時となるので、実質的な天一国元年であると言えるのです。